

平成 30 年度 三田市レジ袋ゼロ推進懇話会 会議概要

日時：平成 30 年 10 月 15 日(月)14:00～15:00

場所：三田市役所本庁舎 3 階 303A 会議室

1 出席者

別紙「平成 30 年度 三田市レジ袋ゼロ推進懇話会 出席者名簿」の通り

2 議事内容

(1)平成 29 年度のレジ袋削減実績報告

資料①に基づき事務局より報告

- 一世帯あたりの家庭系ごみ排出量が年々減少している原因は何か。
⇒これまであたりまえのように家庭ごみで出されていたごみを、事業者の協力もあり分別回収が進んだのではないか。
⇒ごみを減らす前に、食品ロス自体を減らす努力をしている。
⇒市民の食生活の変化に伴い、ごみの出し方が変わってきているのではないか。
- レジ袋有料化について
⇒レジ袋有料化は 10 円以上にした方が辞退する人が増え、マイバックを持ち歩くなど意識の高い消費者が増えるのではないか。
⇒小さい商店のレジ袋有料化は厳しいと思う。レジ袋の削減も意識しており、0 に近づける努力は行っている。それでもレジ袋をサービスで渡さざるを得ない小さい商店の現実があることを知ってほしい。

(2)取組み内容の報告

資料②に基づき事務局より報告

- ドラッグストアはレジ袋を沢山くれる所もあるが、削減活動は行っていないのか。
⇒マイバックを持参した方にポイントを付与する等の取り組みをしている所もある
⇒削減に協力いただいている事業所はあるが、薬品等消費者側がレジ袋に入れてほしい物を販売しているためレジ袋に入れざるを得ない状況もある。
⇒「マイバックを持ってこないで」というドラッグストアもあるが、万引き対策もあるのではないか。
- マイバックを忘れた時、マイバックを貸して下さる店舗もある。
⇒組合員限定で貸しているのではないか。
- レジ袋有料義務化について
⇒国として取り組みを行う動きになってきている。
⇒0 には出来ないが、限りなく 0 に近くなるように。

(3)今後の取組み案

資料③に基づき事務局より提案

- ポスターの更新及び、啓発キャンペーンの継続。
- 消費者大会での啓発活動。

- ⇒啓発出来る所で啓発を行い、少しでも多くの方に意識を持ってもらう。
- ⇒三田祭りでも啓発活動を行ってみてはどうか
- レジ袋辞退率が 90%近くまできているので、引き続き維持していく。
- エコバックやマイバックに対する事業者の意識を高めてほしい。
- 視察研修（焼却場等）に行ってみると現状を知ることが出来るのではないか。

(4)その他

事務局から

- 三田市レジ袋ゼロ推進懇話会規約について
裏面にある別表の参画者一覧変更について
⇒いずみ会さん：会員の高齢化等もあり、会の存続が困難とのことで会を解散されました。
⇒三田市区自治会連合会さん：市の関連の会に委員さんを出して頂いている中で、業務の負担軽減要請が事務局からあったため、市全体で整理をさせて頂きました。
- 会長の任期について
会長任期満了に伴い次期会長提案について
⇒規約上は会長選出について懇話会出席者の互選による選出となっており、また再任を妨げないとなっていることから、事務局からもう 1 期現会長に再任を提案させていただきました。
⇒異議がなかったため、引き続き石出会長に 2 年間会長をお任せします。

会長代理について

会長代理は石出会長の指名により、消費者協会副会長の山田五郎さんに決定しました。

会長から

- 会長から一言
皆様の環境も変化していくと思いますが、これからも地球規模で考えて次世代の子どもたちに素晴らしい未来、豊かな自然を残していきたいという思いではりきって活動させていただきますので、微力ではございますがまた 2 年間よろしくお願いたします。

決定事項

【今後の取組み内容】

- ◆ 啓発ポスターデザインの更新を行い、協定締結事業者において一斉啓発の実施
- ◆ イベントにてキャンペーン（レジ袋削減の呼びかけと啓発資材の配布）を継続
- ◆ 石出会長の再任